

うえるかむ

WELCOME YAMAGATA! COMMUNICATION FREE PAPER.



山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

CONTENTS

- みんなの生活を 情報でつなげよう
- 福島県情報 あきらめないで 繋がる心
- 宮城県情報 お役にたちます/ボランティアバス/ドリームゲート
- 山形県情報 支援者のつどい/フリートーク/発行作業
- 特派員日記 ・リレー応援エッセイ ・おすすめ情報
- みんなの声 ・ひと休み ・編集部より

第7号

つながろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた
TEL023-674-7311
E-mail kizuna@yamagata1.jp
発行数: 今回も 4,800部

みんなの生活を 情報でつなげよう

九月末には、避難者有志が中心になって呼びかけ、鶴岡市以外の庄内地方へ枠を広げた避難者情報交換会が開かれました。世帯主である息子家族と離れての生活のため、「地元自治体からの連絡は全て息子に行き、自分達には情報が入らない」という老夫婦、自主避難のため「地元行政からの



11月6日「庄内秋の恵み観察会」

日本海側に位置する鶴岡市では、三月以降、増減はあるものの、岩手・宮城・福島・茨城より約四百三十人の方が避難生活を送っておられます。(庄内地方全体では約七百六十人) 六月には、鶴岡市主催で「おしゃべり交流会」と題して避難者交流会が開催されました。その後、主に福島県からの自主避難世帯が増え、避難者の内訳・事情も変化し

情報支援がない」という若い夫婦…… というように「自分に今必要な情報をどのように入手したらいいのか……」ということが共通した悩みのようにでした。 市からのダイレクトメールに加え「避難者支援だより」が発行されるようになり「今必要な情報」提供の一步が始まったところです。手探りではありますが、皆さんの生活再建を応援しています。(鶴岡市S)



冬生活 を楽しもう④ 暖房は温風ヒーターがお勧め

冬の暖房としてエアコンを使用するより、石油温風ヒーターを使用された方がコストパフォーマンスが良く山形県内では広く利用されていますが、次の点に注意が必要です。

- 賃貸住宅の場合は、大家さんから石油温風ヒーターの使用許可の確認
- 屋内の換気が一日数回必要
- 灯油を購入(配達、またはスタンド等に行く)し、玄関付近で保管し自分で温風ヒーターに給油する作業が発生する。
- 小さなお子様や認知症の高齢者がおられるお宅は、エアコン使用がより安心です。
- 濡れた長靴や手袋などを乾かす時には、注意しながら温風ヒーターで乾かすのが実用的です。



あったかいものを着たり食べたりしてウォームピズ!



From 福島

あきらめないで

繋がる心

十一月十四日に福島市内で開催された野呂美加さん（「チェルノブイリのかげはし」代表）の講演会は、福島県内で子どもと自分の今後について真摯に考え続けている多くのお母さん達の心に大きな励ましを与えた。

野呂さんは、チェルノブイリの原発事故以後ペラルーシの子ども達に寄り添い続け、多くの子ども達に北海道での保養の機会を提供し続けている。避難に何の後押しも無い状況の中で分断されている福島の人達へ、「ただ危機を煽るのでは無く、一人一人周りの人と繋がっていきながら一緒に考える人を着実に増やしていこう。大変だが、あきらめないでいこう。」と語り、どこまでも自分を信じて力強く繋がっていくことの重要さを共有した。



会場周辺で山形避難相談窓口を開設していたNPO毎週末山形のメンバーもステージ上と呼ばれ、「こういう支援者の方達にどんな助けを求めてください！」と避難の決断に悩む来場者に紹介された。(Hiroppy)

From 宮城

お役にたちます

ディー・コレクティブ

Womens

NPO法人ディー・コレクティブは、被災地において、「被害状況の調査・記録」「災害ボランティアセンターの設置・運営支援」「復興支援」などを行っている。その中のプロジェクト、「ディー・コレクティブ Womens」は「お役にたちます」をミッションに、継続的に地元の市民団体と連携しながら活動を展開中だ。

現在は、仮設住宅などに訪問し、「手しごと・ケロちゃんちくちく教室」を通じての場づくりのお手伝いや、ご当地エコたわしを制作し、特産品販促キャンペーンなどのお手伝いをしている。

一緒に「私にでもできる何かをしたい方」「女性の視点を大切にした活動をしたい方」一緒に活動してみませんか。



From 山形

ボランティアバスで

宮城県山元町へ

山形ボラバス推進コンソーシアムでは「復興支援やまがた号」と称し、八月からこれまでに計三回、被災地へ向けてボランティアバスを運行しています。一回目は宮城県名取市へ。二回目は宮城県石巻市と女川町に。そして三回目の十一月三日は宮城県の南側、山元町へ向かいました。作業は農地の復旧作業で、イチゴ畑三百坪の草取り・草刈りが中心でした。

このバスには、災害ボランティア活動が初めての方から、熟練の経験者、行政職員やNPOなど、枠を超えた約二〇名が参加。年齢層も含めあらゆる点において絶妙なバランスのメンバー構成となったバスでした。

山元町災害ボランティアセンターは、ウェルカムな雰囲気でもとも明るく、十二月以降もボランティアの受付を継続すること。人手が本当に必要です。作業ボランティアのニーズは、現地にはまだまだあります。(花屋)



From 宮城 とともに笑顔でお会いできる日を願って

NPO法人 ドリームゲート 藤本和敏



私達、ドリームゲートは、名取市で障がいのある方へのヘルパー派遣をおこなっています。私達の事業所は津波の被害は受けませんでしたので、障がいのある人を避難所として事務所で受け入れました。その時に全国から沢山の支援をいただきました。

今は通常業務に戻る事ができました。そこで、今度は私達が地震により被害を受けた皆様の支援をしなければいけません。避難所での傾聴活動や山元町での作業ボランティアなどを行っています。

私達は、宮城県民が日常の生活にもどれるように活動しております。ともに笑顔で住んでいた地域でお会いできる日を願っております。

支援者のつどい 開催しました

十一月十六日、今回で三回目となる「支援者のつどい」を霞城セントラルにて開催した。

今回は村山、庄内、最上、置賜から県外支援、避難者支援をおこなう人々が駆け付け、三十名近い参加者となった。そして、「自分たちも福島から来ている方々のために支援がしたい」と、福島から避難して山形に住んでいる二名の方も来場した。

声を出したくても出せない環境の中で、将来への不安を抱えながら、毎日の生活を送っていること。経済的に厳しいこと。支援を広げるためには、多くの人の手が必要なことなどが訴えられ、それに対して活発な意見交換がなされた。

予定の時間をオーバーしてからも話題は尽きず、また次回が待ち遠しくなる内容だった。(支援者のつどい)は、毎月第三水曜日に開催しています。詳しくはセンターホームページをご覧ください)



フリートークで おしゃべりしましょ

十一月四日・十一日の二日間、山形市避難者交流支援センターにて「2D AYフリートーク」が開催された。同センターとNPO団体が共同で開催し、各日十二、三名のママが参加した。

このイベントは保育つきで、保育士と大学生や一般のボランティアさんが別室で待機し、〇歳から四歳までの子どもたちを迎えた。

ママたちのトークでは、「冬の生活はどのくらい大変?」「屋内では子どもをどこで遊ばせられるの?」などの生活に即した話題から、福島への帰郷に関することまで、話題は多岐にわたる。買い物や冬のくらしなどの情報は、地元ママスタッフがアドバイス。避難に関する悩みや不安には、参加したママが共感し合った。あつという間の二時間だった。(海谷)



特 派 員 日 記 避難ママのつづき



十一月も下旬になり、季節は冬へとまっしぐらの今日この頃。やはり心配になるのが雪。

私の住んでいた福島市でも雪は降っていたし、積もってもいたけど、きっとここ米沢の雪は想像以上だと思う。

地元の方も、「大丈夫だよ」という方と「いや〜大変だよ」という方がいらっしやうって、どっちなんだろう?と思ったりもするけど、もうこうなったら降ってみないと分からないな、と思うようになった。

それにしても、山形の方々は本当に親切だと思う。

雪が心配だと言えば、講習会を開こうとか、どうしたら不安がなくなるのかを聞いてくださったりして、本当に頭が下がります。

私たち避難者は、どうしても自分の要求ばかりを出してしまいがちだけど、そろそろ地元の方々ともっと触れ合ってお互いに住みよい街になれたら良いなあと思うようになった。

避難とは言え、縁あって来たこの町。私たちでもできること、そろそろカタチにしていきたい。(あやっぺ)

みんなでうえるかむの発行作業

11月10日、合計20名近いボランティアさんにお手伝いいただき、うえるかむの修正、折り込み、そして仕分け作業をしました。「1日で終わるのだろうか…」そんな不安を抱えていたのですが、人のチカラはやっぱりすごい!皆さんのお力で何とか全ての作業を終了することができました。

福島ママもお子様を連れてご参加くださり、センター内は大家族のような雰囲気。和気あいあいと作業が進められました。外はとてもいい秋晴れ。小学生の男の子たちは、センターのお兄さんと外でサッカー!幼稚園の子どもたちに大人気だったのが、ボランティアさんからいただいた手作りの竹とんぼとかざぐるまでした。みなさん、ありがとうございました!(今田)



うえるかむは県内各地で設置しています

山形県各総合支庁・市町村窓口/山形市内の公民館(9施設) /復興ボランティア支援センターやまがた/山形市避難者交流支援センター/米沢市避難者交流センターおいで/東根市タントクルセンター/山形市市民活動支援センター/元気玉プロジェクト推進本部(福島県会津若松市) / [掲示]生活協同組合共立社(CO-OP)(山形市内) ★避難されている方へ個別郵送して下さる市町村が増えてきました。ありがとうございます!

あすめ情報

■冬の暮らし・冬道の安全運転講習会

雪道の運転や雪処理等冬の生活に対する不安を解消し、冬期間における安全安心な暮らしを支援するため、避難者を対象として「冬の暮らし・冬道の安全運転」講習会を開催します。

雪道運転上達のコツをインストラクターがやさしくアドバイスします。お気軽にご参加ください。

①村山地域 11/28(月)、11/29(火)

②置賜地域 11/30(水)

③庄内地域 11/28(月)、11/29(火)

※詳しくは山形県または当センターへお問い合わせください

■無料税務相談会開催のお知らせ

このたび、東北税理士会山形県支部連合会では被災されました方々の一助になればと、下記により無料税務相談会を開催することといたしました。税務申告等でお困りの方は、是非相談会場へ足をお運びください。

・山形会場 日時：平成23年11月26日(土)、27日(日)

時間：9時30分～12時、13時～16時

場所：山形市スポーツセンター第二会議室

(山形市避難者交流センター隣)

・米沢会場 日時：平成23年11月19日(土)、20日(日)

時間：10時～16時

場所：米沢市万世コミュニティセンター

[問合せ] 東北税理士会山形県支部連合会

山形市旅籠町1-1-14 山形県税理士会館

TEL 023-632-4244

■キャンドルリンク 3.11

「被災地のクリスマスに手作りキャンドルを贈ろう！」

この呼びかけに賛同してくれた、全国各地の皆さんが製作した双子のキャンドル。その片方が、クリスマスイブの夜にどこかの家庭で灯されます。10月末までに、およそ 1000対が 1000人近い方々により製作されました。

地震・津波・原発被害・各地で起きた自然災害など被災地にお住まいの方や、ふる里を離れ避難なさっている方でお子さん(高校生以下)のいるご家庭にお送りいたします(お子さん1人に1本ずつ)。個人・団体、被災の程度は問いません。お気軽にお申し込みください。クリスマス前に届くようにお送り致します。

[問合せ・申込み] キャンドルリンク 3.11実行委員会

〒990-1573山形県西村山郡朝日町立木825-3

TEL・FAX 0237-67-3260 E-mail mitsurou@alto.ocn.ne.jp

WEB <http://samidare.jp/candlelink/>

■やまがた若者サポートステーション

☆きっかけ作りをお手伝いしています☆

自分自身の適性を知ること。社会性とコミュニケーション能力を高めること。そして、これらをベースにして皆さん自身にあったリスタートを支援しています。自分の状況を的確につかみ、私達スタッフと相談しながら、前準備をきちんとしてリスタートしていきませんか？

進学や就業等へのリスタートを図ろうとしている方(15歳～40歳位まで)、山形県内に避難されてきている方もぜひ一度ご相談ください。

利用日時：日～金曜日 10:00～17:30 (個別相談は要予約)

[問合せ] やまがた若者サポートステーション

〒990-0035 山形市小荷駄町 2-7 SUNまち内

TEL・FAX 023-679-3266 E-mail welcome@yamasapo.org

WEB <http://www.yamasapo.org>

■お茶のみサロンに来とごやい

米沢市で地域のお茶のみサロンを運営しているNPO法人おいたまサロンでは避難者の方も歓迎します。音楽室もあります。お気軽においでください。

・日時：月～金、午前8時30分～午後5時まで

・場所：米沢市門東町3-3-7 平和通り駐車場向かい

※訪問者用駐車場あります

[問合せ] NPO法人おいたまサロン

TEL 0238-26-7070 代表 竹田仁

■生活協同組合共立社 共同購入 はじめませんか？

☆東日本大震災被害により山形県に避難している方を対象に、宅配手数料を大幅値引きします！

☆自主的に避難されている方もご相談ください。

☆お申し込みから104週間、サービスが適用になります。

個人宅配の場合 210円→100円 なかよし個別宅配(2人)の場合

104円→50円 はん配達(3人以上)の場合 無料

[生協の共同購入とは]

・共立社独自の安全基準をクリアした食品や雑貨など約2,000点の中からお買い物ができます。

・週に1回、毎週同じ曜日にお届けします。

[問合せ/申込み] 生活協同組合共立社 共同購入運営部

受付時間 平日 9:00～19:00/土曜 9:00～18:00(日曜定休)

TEL 0120-916244

WEB <https://www.snet.coop/request/yamagata/>

■山形県 救急電話相談 をご活用ください

医療機関を受診すべきかどうか迷った場合や、家庭での対処方法などについての相談を受け、簡単なアドバイスをします。どうしたらいいのかな・・・と迷った時に、ぜひご利用ください。

・相談時間：毎日 午後7時から10時(3時間)

[大人の救急電話相談]

県内のプッシュ回線・携帯電話：#8500

ダイヤル回線・IP電話・PHS：023-633-0799

[小児救急電話相談]

県内のプッシュ回線・携帯電話：#8000

ダイヤル回線・IP電話・PHS：023-633-0299

■タウンページをもらいましょう！

自分が避難者であることを告げれば、電話回線をひいていない人でも今住んでいる地域のタウンページがもらえます。

タウンページコールセンター 0120-506-309 へ！

みなさまからの情報をあ寄せ下さい！



避難されている方に伝えたいメッセージ、サービス、イベントなど、避難されている方からの声や要望など、みなさまからの情報をお待ちしています。送ってくださる場合は、「復興ボランティア支援センター」まで。お待ちしております！

■復興ボランティア支援センターやまがた

[住所] 山形県山形市松山3丁目14番69号 (FM山形ビル1階)

[TEL]023-674-7311 [FAX]023-674-7312 [E-mail]kizuna@yamagata1.jp

[開館時間]10:00～16:30 [休館日]土日祝日、年末年始、夏期休業

[ウェブサイト] <http://kizuna.yamagata1.jp/> (モバイル閲覧可)

※ 駐車場に限りがありますので、乗り合わせ等ご協力ください

■ ママズ Link イベント@ベリーダンス教室

エキゾチックなアラブの音楽にあわせて、ストレス解消しながら楽しく踊って、美しくびれを手にいれましょう。お子様連れ OKです。暖かくて動きやすい格好でおいでください。☆上履きは不要です。

日時: 12月2日(金) 13:30~14:30(受付は13:00~)

場所: 米沢市 万世コミュニティセンター 多目的ホール

講師: harumi先生(福島よりいらっしゃいます)

参加費: 大人1人 700円 対象: 育児中のママ

定員: 15名(定員になり次第締め切らせて頂きます)

持ち物: タオル、飲み物 ※託児はありませんのでご了承ください。

[問合せ] mama's link わたぼうし

http://www5.hp-ez.com/hp/mamaslink-wataboushi/

■ シネマエール東北 東北に映画を届けよう!プロジェクト

震災復興支援 米沢市上映会

・上映作品 「ALWAYS 三丁目の夕日」

「こまねこのクリスマス ~迷子になったプレゼント~」

日時: 12月3日(土) 午後1時から《2作品を続けて上映します》

会場: 米沢市万世コミュニティセンター (入場無料)

主催: シネマエール東北

(一般社団法人コミュニティシネマセンター)

■ 山形子ども劇場上映会

「ぼくのそばにはいつも君 ーぼくのペットはグチャグチャペットー」

全国の子ども劇場で大人気の、つげくわえワールドが、山形で楽しめます。

日時: 平成23年12月7日(水)

開場 18:00 開演 18:30(終演予定 19:20)

場所: 山形市総合福祉センター 2F 交流ホール

☆市内に避難されているご家族は500円でご覧になれます。

ただし、会場の都合により先着20名とさせていただきます。

TELにて事前にお申込みください。

[問合せ] 山形子ども劇場事務局

山形市城西町1-7-19(山形県NPO支援センター2階)

TEL・FAX 023-646-1263(火・木・金 10:30~16:00)

■ 伊藤忠ファミリーフェア開催のご案内

衣料品・日用品から食品までお買得商品を取り揃えたファミリーフェアを開催いたします。山形へ避難されている皆様を特別にご招待させていただきますので、是非ご来場いただき、お買物をお楽しみください。

・日時: 12月10日(土)10時~17時、11日(日)10時~16時

・場所: 山形ビッグウイング

※ご入場には招待状が必要となります。招待状は山形市避難者交流支援センターもしくは復興ボランティア支援センターやまがたにてお受取ください。

[問合せ] シーアイ・ショッピング・サービス(株)

会期中: 023-634-2201(会場直通) 8:00~17:30土日祝休

会期前後: 0120-888-620(フリーダイヤル) 8:00~17:30土日祝休

■ 遊びにおいでよ♪子育てひろ場

いつでも・誰でも自由に参加できるあそび場所です。子どもと一緒に遊んだり、他のママたちやスタッフとおしゃべりしたり・・・ゆったりとした時間を一緒に過ごしましょう。

☆山形県内で避難生活をされている方もぜひご参加ください。

・時間内は出入り自由です。(予約不要)

・年齢制限はありません。スタッフがいるので、初めての方も安心です。

・同じ子育て中の方が集まるので、いろんな情報交換ができます。

・開催時間: 10時~12時(月1回)

・日時・会場: 東原センター 11/25(金)、12/16(金)、1/27(金)

城西センター 11/30(水)、12/14(水)、1/25(水)

鈴川センター 12/9(金)、1/6(金)

桜田センター 12/12(月)、1/16(月)

・参加費: ひと家族 100円

[問合せ] 〒990-2212 山形市上柳 67-1 生活協同組合共立社

山形生協(組織部) TEL 023-686-6262 FAX 023-686-6263

Email sn.k 00330ss@todock.jp

■ うまいもんフェスタ CO-OP 2011

生協のうまいもんが勢ぞろいします。県外から避難されている方 500名に入場無料券プレゼント中!ご希望の方は復興ボランティア支援センターやまがたまでお問い合わせください。

日時: 12月3日(土)・4日(日)

9:30~16:00

場所: 山形市 ビッグウイング

(山形国際交流プラザ)

入場料: 小学生以上 前売り200円 当日300円

内容: ご当地バーガー、焼きそば対決、料理講習会、キャラ弁コンテスト、抽選会、アトラクションなど。3日はYBCラジオ公開生トークショー、4日はゴーカイジャーショーがあります。

[問合せ] 生活協同組合 共立社 TEL 0120-916244



■ 愛絆義コンサート (東日本大震災チャリティー)

日時: 12月17日(土)

開場 13:00 開演 13:30

場所: 米沢市伝国の杜置賜文化ホール

入場料: 一般(中学生以上) 1,000円

小学生 300円

小学生未満のお子様は無料

出場者: 伝国座、HAPPY愛 LANDS、

加藤マチャアキ+ The Groovy75、プレ

カリア、HEAVY GAUGE、Brilphant

Shine、nyan、黒田彰久

[問合せ] 絆ねつと委員会事務局

TEL 0238-38-2411



■ 原発からの撤退をもとめる運動: 特別企画学習会

~原発事故から私たちの暮らしを考える~

日本大震災から、はや8カ月。いまだ収束しない福島原発事故の影響、そして風評被害に苦しむ福島県の現状をお聞きし、私たちの暮らし、そして私たちができることを一緒に考えませんか?

・日時: 2011年11月26日(土) 13時30分~15時30分

・会場: コープ桜田1F組合員集会室(山形市桜田東4-9-15)

内容: 「東日本大震災・原発事故に向き合う福島県の現状と課題(仮)」 講師 福島県生協連専務 佐藤一夫氏

[問合せ・申込み] 参加ご希望の方は、下記までお申し込み下さい
〒990-2212 山形市上柳 67-1 生活協同組合共立社山形生協

(組織部) TEL023-686-6262 / FAX023-686-6263

Email sn.k 00330ss@todock.jp



みんなの声

●コートって高くてなかなか買替えるのも大変なので迷っています。放射性物質はウールなどにはくつつきやすいと言われていますよね……。当時通勤にしていたので、外の空気とばつちり接触。やはり廃棄かと半ばあきらめているところです。(福島市・避難ママ)

●福島の人達は、避難の流れや避難生活にかなりネガティブなイメージを持っている。避難者した方が逆に元気になれることを伝えていきたい。(福島市・女性)

●子どもの風邪を診てもらいに医者に行った際に、震災以後の子どもの症状のことなどを相談したら、お母さんの過剰な心配とストレスによる影響が子どもの体調に良くない、的なことを言われて怒りを覚えた。(福島市・避難ママ)

●子どもの七五三の写真屋さん選びをしていて、震災以来、一度も美容院に行っていない自分に気が付いた。(福島市・避難ママ)

●干し柿、落ち葉で焼き芋…などの秋の風物が放射能の影響が心配で出来ない今年は寂しい。でもうちの子の保育園でやると言ったらそれも怖い。(二本松市・避難パパ)

●「りどる福島」の缶バッジ、かわいい！(避難ママ×多数)

みなさまからの声をお待ちしています！
つぶやきをみんなで共有しましょう！下のQRコードを読み取り、携帯メールでお送り下さい。



心寄せ続ける

春、夏が過ぎ、秋も終わり、もうすぐ冬を迎えます。三月十一日から八カ月、日本中の人たちが支援を下さっていますが、復興ははかばかしく進んではいません。災害が発生した直後は、生きていることを喜びあげていましたが、現在は、置かれているそれぞれの条件や状況の中で、大きく異なった生活をみなさん、送っていらつしやることと思います。

また、これまで抱えてきた問題、ストレスも人によって様々でしょう。周囲の方を思いやりすぎたり、自分の辛さを隠したりすることなく、「私の思い」を大切にしておくことで欲しいと思います。「私」の問題は社会の問題、そして政治の課題と重なっています。思いや悩みを私たちと一緒に考えていきませんか。復興対策はこれからが本格的で長い戦いになるでしょう。その状況で、私ができることは、被災地に心を寄せる人々、その声を伝えてくれる人々と細く長く、一緒に活動を続けていくことだと考えています。

(石山由美子)



山形の秋のぜいたくな味わい ラ・フランスのコンポート

ひと休み

[材料]

- ・ラ・フランス 3個
- A 砂糖 80g～(好みで)
- 白ワイン 100cc
- はちみつ 大1～(好みで)
- レモン汁 30cc
- 水 100cc

[作り方]

- ① ラ・フランスは皮を剥いて、軸を取り、半分に切る。
- ② ラ・フランスを鍋に入れ、Aを加える。最初は強火にし、沸騰したら弱火で30分ほど煮る。まんべんなく煮るために、時々上下を変える。



ポイント!

少し固めのラ・フランスが good です。

レシピ提供者：映画「よみがえりのレシピ」製作委員会 鈴木淳子さん

支援センターのサイトをご覧ください→ <http://kizuna.yamagata1.jp/>

編集部より

日頃より皆様からのあたたかいご協力ご支援をいただいております、心より感謝申し上げます。

●震災があったから、福島の人達と仲良くなれた。今年の冬は寒いから、そのせいでもっと仲良くなれる。超ポジティブシンキングで行くっきゃない。だって寒いんだもん！(笑)。(Hiroy)

●いよいよ雪が降ってきた。心配な季節だが、子供には楽しい季節である。山形の冬を楽しんでいただき、思う。(遠藤)

●さまざまな壁を乗り越えて、子どもを守るその姿に、母は強しという言葉がぴったりだと思った。(海合)

●先日、会津美里町を「まちづくり」の話でお訪ねしてきました。歴史的にも、地理的にも繋がりが深い会津地方と山形。これからも繋がりを深めていきたいものです。訪ねた日は初冬の佇まい。田園地帯に群れをなして飛ぶ白鳥に明日への希望を託して帰りました。(アミル齋藤)



情報提供、活動協力などお待ちしております

避難者向けフリーペーパー「うるかむ」

発行元：つながろう！ささえあおう！
復興支援プロジェクトやまがた
〒990-2412 山形県山形市松山三丁目14番69号
「復興ボランティア支援センターやまがた」
TEL 023-674-7311 FAX 023-674-7312
E-mail kizuna@yamagata1.jp
WEB <http://kizuna.yamagata1.jp/>